



荷担寺院集合写真

### 巻頭言

安楽寺住職 若林宜範

新緑深まる佳き日、好天にも恵まれ、二十四世晋山

# 安楽寺報

第48号

発行  
令和7年8月  
安楽寺  
印刷  
一喜堂印刷(株)  
☎ 35-2624



式が厳かに修行されました。全国から一〇〇人以上のご縁深き寺院様方に荷担賜り、募集していた稚児の参加者も一〇〇名を超え、お寺だけでなく地域全体が盛大に歓喜の輪に包まれました。そんな中、当人である私は一世一代の大行事ということもあり、準備に余念なく進めてきたつもりでしたが、法要中は緊張と感動で頭がいっぱいになり、余韻に浸る間もなく、気づけば法要が終わりを告げておりました。

先代から住職の任を譲り受けてから、一年半の準備期間を



須弥壇上より説法を行う大開答

式を修行するにあたり、多大なるご理解と温かいご支援を賜り感謝の念に堪えません。

大法要が終わり数ヶ月経ち日常生活に戻りましたが、法要後数日間が終わった安心感よりも寂しさのほうが残っている感じがした。思うに、日々の生活の中でたくさんの人に感謝して歩んでいるつもりでしたが、これまで生きてきた人生においてこれほどまでに人の温情を感じ、その繋がりをありがたく思える時はないのかもしれないと思えた時間を過ごせたからなのかもしれません。

私は修行時代、師僧の一人である大本山總持寺第二十四世大道晃仙禅師様に、「脚下照顧、脚もとをみよ」とお教え賜りました。足下に気をつけないさいということではなく、まずは自分を知ることからはじめなさいということだと思います。このたびの法要に際し、その言葉を

思い返した時、自分の僧侶として足らないことの多さを改めて痛感しました。まだまだ支えていただいていることのほうが多く、今後はその恩を胸に、檀信徒の皆様に住職として安心して任せてもらえるよう一層精進していく所存です。



檀信徒先祖供養並びに心願成就、無事平穩などを祈る大般若祈祷

## 令和七年 後期行事のお知らせ

### 秋彼岸合同法会並びにチャリティー寄席

●左記日程にて、秋の彼岸合同法要並びにチャリティー寄席を開催致します。年回忌にあたる方には、別紙にてご案内致します。チャリティー寄席は、法要案内の有無に関わらずどなたでも参加可能となっておりますので気軽においでください。

期日…九月二十三日(火) 秋分の日

場所…安楽寺本堂

日程…寄席 午前九時四十分～十時二十分

(真打 桂 夏丸 師匠)

法要 午前十時三十分

本チャリティーにて皆様からお寄せいただきました浄財は、SVA(シャンティ国際ボランティア会)を通じて、教育の機会に恵まれないアジアの子どものための教育支援活動や国内外の災害支援に役立たせていただきます。皆様、ご協力お願い申し上げます。

### 写経会

●日常では味わえないひと時をいかがでしょうか。お経に親しむ講座も併せて行っています。初心者大歓迎。正座ではなく、椅子席となっております。

場所…安楽寺

期日…九月二日(火)、十月二日(木)、十一月二日(日)、十二月二日(火)



時間…各回午後2時より  
会費…1,000円

※参加費は、アジアの子ども教育支援に役立てられます。  
※持ち物…書道用具一式(お手本・写経用紙はお寺で用意します。)  
※参加ご希望の方は、安楽寺まで電話でお申し込みください。

### 秋の塩田平札所めぐりのお誘い

●秋の塩田平で四国霊場をお遍路してみませんか。信仰、健康、観光が目的でもあり、歩くことでさらに新たな発見があるでしょう。

また、塩田平は「太陽と大地の聖地」として、日本遺産に認定(詳しくは「日本遺産」で検索ください)されています。この機縁に、魅力溢れる文化と歴史に触れてみましょう。

とき…十一月十六日(日)

午前八時半下之郷長福寺集合

参加費…三〇〇円

持ち物…弁当、飲み物、雨具など他必要な物

コース…中塩田コース

長福寺(下之郷)→西光寺(中組)→大円寺(奈良尾)→地藏堂(平井寺)→薬師堂(鈴子)→釈迦堂(石神)→青龍寺(柳沢)→前山寺(東前山)

※参加ご希望の方は五日前までに先達寺院(安楽寺)に電話にてお申し込みください。

※札所巡り用朱印帖・朱印軸はあらかじめ購入しておいてください。(安楽寺でも購入できます)

※御朱印は、各札所二百円。

※参加者全員に、別所温泉共同浴場の入浴券を進呈致しますので、札所めぐりの疲れを癒してください。

※参加者の人数と歩くペースにもよりますが、およそ十四時～十五時終了予定です。

### 歩いて国宝めぐり

●安楽寺裏山を通る別所峠は、近年環境省から中部北陸自然歩道の一部に指定され、整備を進めています。昔は生活道路として住民にとつて欠かせない道でしたが、車社会が進んでからは忘れられてきていました。ぜひこの機会に紅葉を楽しみながら秋の彩り豊かな自然の中を歩いてみましょう。ハイキング気分ですける道です。ぜひ気軽に参加ください。

とき…十月三十一日(金) 午前9時

安楽寺集合

参加費…無料

持ち物…飲み物、雨具など他必要な物

コース…安楽寺(国宝八角三重塔)→別所峠→青木村殿戸(五島慶太生家跡・県宝

日吉神社)→大法寺(国宝見返りの塔)

↓青木道の駅→別所温泉(バス・電車利用)

申込み…三日前までに電話にて安楽寺まで

帰路…路線バス(当郷停留所)→上田原駅(別所線)→別所温泉駅

※雨天中止とします(雨天時、参加希望者は寺に確認ください)。

※大法寺で解散といたしますが、そのあと昼食をとられる方は、持参もしくは青木道の駅食堂にて昼食でも結構です。





## 晋山式後の作業報告

晋山式の法要が終わり、現在檀家の皆様に報告するための記念誌を制作中です。記念誌委員会を中心に、当日の写真選定作業や原稿の校正など時間と労力を要する細かな作業ですので、出来上がりまでは期間を要しますが、年内完成を目標に頑張っております。

また、晋山式の法要の様子を動画サイト「YouTube」にアップしました。インターネット自体不慣れではありますが、初の試みにチャレンジしてみました。「YouTube」にて「崇福山安楽寺晋山式」と検索してください。全国には安楽寺という同じ名前のお寺が数多くありますので、異なるお寺も出てきますのでお間違いないように、全部で三部構成となっております。法要自体が長時間ですので、多少編集はし

ておりますが、長時間の動画もありますので、休憩しながらぜひご覧ください。

## 長野県文化財保護連絡協議会発足

七月一日に長野市善光寺様が発起となり、長野県文化財保護連絡協議会が発足いたしました。構成は、長野県内で文化財を保持している六つの寺社（善光寺、諏訪大社、信濃国分寺、別所常楽寺、長野市世尊院、当安楽寺）が初期事務局と



長野県文化財保護連絡協議会発足記者会見にて

なっております。

現在、長野県には一〇の国宝、約二四〇の重要文化財、三〇〇近くの県宝があり、それぞれ何百年も大切に護られてきました。しかし、多くの文化財は維持管理や修繕していくために、近年の人工減少や過疎化、さらには物価高を背景に多額の費用を要し、保存していくことさえ厳しくなっている現状です。そこでこのたび、善光寺様の声掛けにより、それぞれの施設が連携し、国や県、行政に対し財政的な支援を求め、増加しているインバウンドへの対応も共有しながら文化財の保護、そして地域活性化のために活用していくために取り組んでいくことを決議しました。

安楽寺には先人の方たちが護り繋いできた国宝三重塔がありますので、住職として貴重な文化財を未来へ残すために努めていきたいと思っております。

## 法輪寺たより



安楽寺晋山式において、新命住職の出発点となる安下処<sup>あんげしよ</sup>を法輪寺といたしました。通常、安下処は総代や近所の檀家さんの自宅をお借りして出発することが多くなっていますが、法輪寺は元々安楽寺への出世寺と伝えられており、私が初めて住職を務めたお寺ということもあり、およそ

十三年間様々な経験を積みませていただき、地域の方々にも親しみをもって接してきてくださいましたので、その報恩も込めて法輪寺から出発することにしました。

当日は肌寒さも残る早朝にもかかわらず一〇〇人近い方がたが見送りにきていただき、驚きと嬉しさで感極まるばかりでした。ご開山並びに檀信徒の先祖供養の回向をし、盛大に見送ってくださいました。

今後も住職としてさらに地域に寄り添えるよう努めていく所存です。お寺の行事も新年のご祈禱やどんど焼き、春に行う花まつりや秋には地藏まつりなどを行い、地域一体となってお寺を盛り上げていきたいと思っております。



法輪寺安下処での供養



晋山式法輪寺安下処出発

また、恒例となっております秋の地藏まつりについて、今年は**《九月六日(土) 十六時》**より行う予定で計画を進めております。堂内にてご祈禱をしたのち、境内において様々な振る舞いや子どもたちと花火をしたり、楽しい時間を過ごしたいと思っておりますので、地域の方に限らずぜひどなたさまも気軽ににお立ち寄りください。

※法輪寺裏にあります八木沢霊園は、現在すべての区画が購入済となっており空きがない状況です。購入希望がある中、大変申し訳ありません。その他、八木沢霊園には合同墓（永代供養墓）もありますので、永代供養を検討しております方はご相談ください。

## 「御朱印御守」で詐欺退散！

近年、全国各地で増加する金銭詐欺をはじめとした特殊詐欺を未然に防ごうと、上田警察署と共同で「御朱印御守り」を製作しました。この御守りは、詐欺撲滅などの啓発活動の際に配布しております。年々特殊詐欺の手法は巧妙化され、残念ながら詐欺犯罪をゼロにすることは難しいかもしれませんが、周知徹底して未然に防ぐことはできると思っています。警察や地域と連携しながら詐欺被害に遭わないよう寺も協力していきたいと思っております。犯罪者は人の弱みにつけこんできます。皆様も分かっている不審な電話などがあつたら焦らずに警察や家族に相談してください。



## お盆さん

今年もお盆の時期にご先祖さまを送迎するための迎え火・送り火用のわら束を安楽友の会有志により約八十束製作し、本尊前にてご祈禱したのち、販売しました。一束三百円で、売上金はシャンティ国際ボランティア会（SVA）寄付しています。今年はすでにお盆が過ぎましたが、毎年製作してご祈禱しているおかげか、好評いただき早めに完売してしまっています。お寺にて販売しておりますので、来年以降お盆の準備をする際に購入希望の方はぜひ早めにお立ち寄りください。



## 沙羅の会たより

私は、今より二十年前になります。安楽寺さんと御縁をいただき、受付の仕事に従事いたしました。当時は初体験の事ばかりでしたが、親世代の大先輩に歴史深い国宝の事や仕事のご指導を賜り、毎日の日々を楽しく張り合いある時間を過ごすことができました。その楽しさをもう一度と思い、昨年より沙羅の会に入会いたしました。が、体調すぐれず、夫の先立ちもあり思うようにはいかず、まだまだお役に立てておりませんが、いまは仲間助けられ前に進むことができ、心の拠り所となっております。

今年には戦後八十年、今まで過ごしてきた平和で幸せな時代に感謝し、微力ながらボランティア活動に協力いたします 筆者 K・K

